



## マグの事業化パイロット インドネシア、バングラデシュにて決定！

AWING グループの MAGG インターナショナルは、来年の春をメドに生体によるゴミ処理の事業化に向けた事業パイロットをスタートする。

インドネシア、バングラデシュ両国で実施しそれぞれ現地政府機関との提携が決定した。

同グループが保有する技術を使用すると、低開発国やゴミ処理が定着していない場所においても、無害のアブの幼虫(magg)を使用し、生ゴミを安全かつ安価に処理し、マグや残渣を飼料とし販売し収益を得る事により自立した事業形成の実現が可能となる。

今後インドネシアでは、数トン規模のパイロット事業を行政やジャバベカ等の有力企業との実証予定とし、夏までに実証に向けた調整を完了する。同社は、インドネシア海洋水産省と技術提携し magg 飼料化による魚の餌とする販売モデルを確立している為、このモデル展開をコラボする予定としている。

またバングラデシュでは、政府の機関である RDA(バングラデシュ国の事業モデル検証、実証機関)とコラボし、メタン処理技術をコラボした水とゴミ処理の実現に向けたパイロット事業を2020年から開始する。

同社は、ゴミの分別処理による収益もあり、両国ではそれぞれ違ったモデルケースを導入し、1ton から段階的にスケールアップし、今後同国での展開に必要な実証や検証について民間企業や両国の政府機関等と提携し、2020年の春までに実証を完了させる。

両大使館からの期待度も高く、今後各政府と連携し現地の要望に沿った事業モデルを構築する。



### 【お問い合わせ】

A-WING 株式会社

〒830-0018 福岡県久留米市通町 356-1 ジャムビル 2F

TEL : 0942-65-8847 / FAX : 0942-65-8857 / Web : [www.awing-jp.com](http://www.awing-jp.com)

発行担当 : 小野 孝仁([info@awing-jp.com](mailto:info@awing-jp.com))